

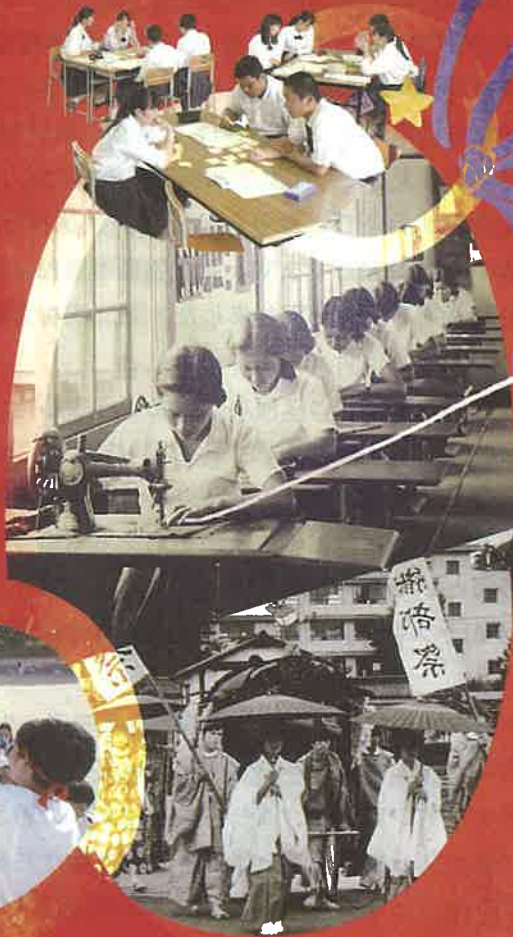
八雲

第55号

(平成30年10月発行)



大東高校マスコット
おりべちゃん



歴史をつなぎ
未来をつむぐ

百年前

大東の地に一つの学校が生まれました
教育への熱い思いと

子どもたちの未来を願う気持ちが
形となった学校でした

以来百年

その熱い思いは

子どもたちの学びを支え

地域に力を与え続けてきました

今

私たちはその歴史を受け継ぎ

未来を拓いていく若い力を

育てていこうと決意しています

これまで学校を育て支えていただいた

すべての皆様に感謝申し上げますとともに

次の百年に踏み出す大東高校に

更なるお力をいただきますよう

お願い申し上げます

大東高校創立百年記念事業

実行委員会委員長 安原重隆

鳥根県立大東高等学校

校長 中村訓子





大東高校を見つめて

八雲会会長

安原重隆

全国各地にお住まいの卒業生の皆さまお元気ですか。この機関紙は、すべての本校卒業生の皆さま（住所の分かる範囲内）にお送りしています。年齢的には、農学校卒も女学校卒も高等学校卒も対象ですが、さすがに農学校卒の方はもういらっしやらないかと思えます。女学校卒の方は、85歳位以上ですから、バリバリお元気の方がたくさんいらっしやいます。

さて、大東高校は農学校としての創立から百周年を迎えます。特に高齢の皆さまには、ありし日々の思い出感慨もひとしおかと思えます。記念事業を進めるに当たっては、全国各地の卒業生の皆さまや地域の皆さまからのご支援ご助力を賜りました。そのご芳志と愛校のお心に支えられ記念事業が進められてきたことをまずご報告申し上げ深く感謝いたします。

本校の創立百周年記念事業は、卒業生会である「八雲会」、部活動後援会、PTA、学校の四者が一体となり、平成26年9月準備委員会、平成27年1月第1回実行委員会の発足以来進めて参りました。推進に当たっては次の専門部を設けました。寄付活動部は、約3,100名の皆様（会社等も含む）から、約1,600万円のご寄付を頂きました。記念式典部は、講師に池上彰先生のご快諾を頂き、記念講演会を開催する運びとなりました。記念誌刊行部はB5版550ページの百年誌を平成31年3月発行します。記念整備事業部は前庭・体育館の緞帳・マイクロバス・楽器等を整備充実しました。記念祝賀会部は和やかな意義ある宴を目指しています。

ところで、「百周年記念とは何か」考えてみました。私は、過去・現在・未来の三つの視点で捉えることができると思えます。

過去を捉えるとは、農学校として創立され女学校を経て高等学校となった百年の歴史を顧みることだと思います。そもそも100余年前、当時の人たちが時代の要請であるとして努力し創立されたものであります。以来100年の歴史については来春発行の「百年誌」に思い出や努力の結晶が写真入りで満載されています。

現在とは、いま厳しくも優しい教師陣の指導の下、生徒たちが一丸となって、勉学に部活動にと、エネルギーを燃やし続けているまさにそのことです。私は先日も学園祭を見学しました。はちきれんばかりの若さを目の当たりにし、昔を思い出し、またうらやましくも思い、同時に私たち卒業生は彼らを支える力にならねばならないとも思いました。大東高校の存在が、この地域の文化の向上や活力増進に役割を果たしていることも強く認識しなければなりません。

未来とは、これからどんな社会になるのか、何をどう考えて生きてゆくべきか。高校生にとっても私達にとっても大きな課題です。池上彰先生の記念講演でヒントを得て、未来について更に深く考えてゆきたいものと思えます。

結びに、皆さま、どうぞ大東高校のさらなる発展にお力添え賜りますよう、また祈っていただきますようお願い申し上げます。





100年のその先へ

校長
中村
訓子

今年の夏は、酷暑、大雨、台風、地震とこれまで経験したことのない規模の災害が次々に私たちの生活を脅かした夏となりました。災害に遭われた皆様、復興の途上にある地域の皆様には衷心よりお見舞いを申し上げます。

大洪水で鉄道や国道の復旧も未だ先の見えなかった7月、八雲会広島支部会に出席させていただきました。今年は母校が100周年の記念の年だからと、公共交通機関が不通となっているにもかかわらず、普段の倍以上の時間をかけて会に出席なさった方もおいでになり、昨年以上に母校への熱い思いを語り合う、和やかな温かい時間を過ごさせていただきました。4月に伺った関西支部会でも同様に、たくさんの皆様が集われ、熱い母校100周年への思いをそれぞれに伺うことができました。

本年10月6日の100周年記念式典は、台風のため取りやめとなってしまいましたが、八雲会の皆様には、早くから様々な形でご支援ご協力を賜ってまいりました。物心両面に亘って100年の最前線に連なるものたちを支え、励ましていただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、大東高校は今年度、全校生徒307名でスタートをしております。生徒の数は減っていますが、6月に行われた県高校総体では、3年連続でBグループ（学校規模でのグループ）男女総合第2位（公立高校では1位）と健闘しています。中国大会へはバドミントン部、剣道部、空手道部、ソフトボール部が出場し、特にソフトボール部は久しぶりの中国大会への出場でしたが、2回戦に進出するなど、各部ともに練習の成果を示してくれました。さらに、インターハイへは空手道部女子団体・個人が組手で出場しました。文化部の活躍もめざましく、全国高等学校総合文化祭へは美術部が2年連続で出場を果たしています。また、昨年度から生活科学部、JRC（青少年赤十字）部、茶道部の3部が一体となり、「地域文化部」として、お祭りに出店したり、イベントで発表を行ったりと地域とつながる活動も行っています。

本校と同じく100回目の夏を迎えた全国高等学校野球選手権大会では酷暑の中、今年もたくさんの皆様に声援をいただきました。残念ながら2回戦で立正大湘南高校に敗れましたが、新チームとなり、捲土重来を期して練習に励んでいるところです。

進路についても、この春の卒業生は、3クラスになって初めての卒業生でしたが、それぞれがしっかりと自分の学びを生かし目標を達成しています。就職希望者は22名いましたが、全員が公務員や県内外の企業に就職しました。また、進学においても地元島根大学への進学7名をはじめとして国公立大学へ21名が進学し、私立大学や短大、専門学校へは60名が進学しています。

今年の学園祭のテーマは「百夏繚乱～青春の花を摘まんかな～」でした。これもまた、創立100年目に立ち会った生徒たちが、本校100年の歴史に思いをはせながら考えたテーマです。体育祭の閉会式の後には、全校生徒の書いた10年先の自分へのメッセージをタイムカプセルに入れ、校庭に埋設しました。八雲会会長様、部活動後援会会長様、PTA会長様にも立ち会っていただき、あたたかも100年の時代を次の世代へ渡すかのような式典となりました。

本年迎えました創立100周年を新しい時代へ向けてのスタートと位置づけて、さらに地域の活力となる大東高校を目指してまいりたいと存じます。今後とも、母校に対するご支援、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

平成30年度 八雲会総会

平成30年度の八雲会総会を7月7日(土)に、50名出席のもと、今年度は大東地域交流センターにおいて開催しました。今年は豪雨により各部の活動披露がありませんでしたが、校長から学校の近況等の説明がありました。総会では、会長、校長挨拶のあと議事に入り、平成29年度事業報告及び決算報告、平成30年度事業計画及び予算等について報告がありました。百周年記念事業については、記念整備事業、寄付の状況等の説明があり、引き続き協力体制をとることを確認し、懇親会となりました。

今年度の総会の出席者は昨年度より多かったです。来年度もさらに多くの方に出席していただけることを願っています。

関東支部会

鏑木 茂雄 (第32期)

2017年10月21日土曜日、「銀座らん月」にて今年の八雲会関東支部会を開催致しました。八雲会から太田多美子副会長、母校から中村訓子校長先生をお迎えし、関東在住の出席者は8名で計10名の参加となりました。支部長の開会挨拶に続き、太田副会長のご挨拶、山崎肇さんの音頭による乾杯が行われました。その後、中村校長先生より現在の学校の様子や部活動成績のご紹介、ご説明などがあり、その後、歓談、自己紹介など皆様と楽しい時間を過ごすことができました。体育部、文化部とも活躍をされている話を聞きますと、自分達の時代と比べて羨ましく思います。

今回印象に残った事は、中村先生が大東高校始まって以来の女性の校長先生ということでした。関東に住んでいますと女性の校長先生は珍しくあ

りませんが、島根県でもあまり多くないとお話でしたので、人懐っこい笑顔と、明るいキャラクターで母校に新しい風を吹き込んで頂けると期待しております。

又、今後県外からも生徒を募集していくとお話がありましたので、関東から入学される方、八雲会関係のご子息・ご令嬢や縁者の方が卒業生となられ、大東が第二の故郷と思って頂けるようになれば良いと思います。そして、行く行くは関東支部会へも参加して頂けることになればなおさら喜ばしいです。

実は今回なかなか参加者が集まらず開催が危ぶまれましたが、どうにか行うことができました。ほっとしています。毎年、開催時期を変更したり時間をお昼にしてみたり等、支部会メンバーで人集めの策を講じてはおりますが中々良い打開策が無く苦慮しています。いつもは、土曜日開催ですが仕事の関係上日曜日はどうかとの話も出ています。他の支部会の方々も同じ悩みがあると思いますが、何か良い方法があれば教えて頂ければ幸いです。

若い方がどんどん参加して頂くことが今後にも繋がっていくと思います。おひとりでの参加でも、非常に楽しく懐かしい時間を過ごせることは保証します。関東在住の卒業生の皆様、来年こそ是非参加してみてください。宜しくお願いします。



関西支部会は、長い間活動をしない休眠状態の時期があった。当時の八雲会会長の角谷雄輔さん(7期)は、この状況を嘆き自ら大阪に乗り込んで来られ、活動の復活について協力の要請があった。我々はこの趣旨に賛同し活動を再開、以来、今年10年目を迎えることになった。

丁度タイミングよく会員の中村淳さん(22期)から、特別企画の提案がなされた。教育評論家として活動されている野々村直通さん(22期)を招聘し、講演会を開こうと言う内容。野々村さんと中村さんとは同期であり入魂の仲。高校創立100周年、関西支部復活10周年記念として相応しい行事と考え、廣木益夫支部長(16期)共々、両手をあげて賛成した。したがって、今年の支部会は、この「特別企画」をメインにして開催した。

開催日：4月14日、場所：ニューオオサカホテル。本部から太田副会長(13期)と中村校長先生にお出ましいただいた。支部会員と友人・親戚等の出席は45名。前年の29名を大幅にアップ。野々村直通さんの講演を聞きたいという60代の会員が増えた。通常1時間は取って、挨拶・情勢報告・意見交換等に当てているが、今回は半減し、講演会に当て90分間の時間を取った。

演題は「ワシが甲子園に連れて行く」。幾度も甲子園出場を目の前にして敗れ去った我が母校、もし野々村さんが監督に就任されれば、甲子園出場が叶うかもと期待し、錯覚にも陥りながら聴講し

た。野々村さんは、ご存知のように開星高校の野球部監督で、春2回、夏7回も甲子園に出場され選手育成には定評がある。昨年阪神に入団し、今年も活躍している大東下分の出身糸原健斗選手(開星高校)は門下生の一人。彼の阪神入団時のエピソードは興味を引いた。糸原選手はノンプロ時代、4割以上の打率を誇っており、金本監督が探し求めている「打てる内野手」に符合すると判断。広島カープの松田社長を通じて推薦した事例等、陰でいろいろ尽力されたことに感銘した。

「夢を持つこと、その夢(目標)の実現に向かって努力を重ねて行く」「その過程が自信となり、自分の強さが引き出され、夢の実現になる」「何者にも負けない、諦めない心を持ち続ける」野々村監督のこの言葉で、高校時代の糸原選手は、自ら実践し厳しく鍛えられ遅く育ったと、今回の講演を聞いて感じた。

講演のあと懇親会に移り、太田副会長の乾杯の音頭で始まった。冒頭「今朝出掛けに嬉しいニュースがありました。糸原選手の出身地でもある大東下分でコウノトリが巣作りをしていましたが、ひながふ化したそうです。誠にお目出度いことです」副会長の発声にどよめき、コップを高々と挙げて一斉に乾杯した。

今回も中村淳さんから美味しいお酒の差入れがあった。それと、中村さんの進行による「じゃんけんゲーム」は大いに賑わった。今日の主賓であ



る野々村さんが登壇され、野々村さんと参加者とのじゃんけん勝負。1人になるまで何回も繰り返し、勝ち残った勝者に豪華な賞品が贈られるゲームである。賞品が無くなるまで続き、その間約30分、一喜一憂しながら子ども心に返ったひと時であった。ずうっとじゃんけんしっ放しの野々村さんの右手に腱鞘炎を心配し、中村さんのご厚意に

感謝しながらゲームを終えた。

最後は、これも恒例となっている自衛隊勤務の瀧都さん(45期)の締め。一番若い彼女の音頭で万歳三唱をして幕を閉じた。

なお、私高橋は今回で事務局担当を降り、小山勉さん(23期)にバトンタッチした。

広島支部会

広島支部支部長 佐藤 眞(第17期)

八雲会広島支部は平成30年度総会を7月21日(土)八雲会本部から安原会長、中村訓子副会長(校長先生)をお迎えし、広島市南区のホテルニューヒロデンに於いて開催しました。

当日は猛暑そして西日本集中豪雨災害にもかかわらず会員18名が出席しました。三島暁子幹事の司会で総会は始まり、佐藤眞支部長が「皆様、この猛暑そして豪雨災害で大変お出かけ難いなか多数ご出席頂き有難うございました。この度の災害で被災された会員がおられ、特に毎年出席頂いている4名の方から直接家屋等に被害がなかったものの断水、道路の損壊等に不便な生活を強いられており今年は総会に出席できない旨連絡を頂きました。改めて被災された皆様に対しお見舞い申し上げるとともに一日も早く平穏な生活に戻れることを心からお祈りいたします。

さて、今年の出席者の方を拝見しますと、会員の紹介・声掛けにより高11期河島信四さん高24期福間功さんにこの度参加頂きました。このように紹介・声掛けはとても有り難く支部活性化の手掛かりとなります。今後ともよろしくお願い致します。

夏と言えば高校野球いま県予選の真っ最中ですが戦況についてはのちほど校長先生にお話し頂くこととし、プロ野球に話を転ずると大東出身のプロ野球選手である楽天福山君(本校卒業)、阪神糸原君(大東西)も頑張っています。今年のチーム成績はご存知のとおりですが、今後ともこの故郷のプロ野球選手をしっかりと応援していきたいと思えます。

最後になりましたが、今後も皆様からの様々な情報を頂きこの会が更に活性化するよう頑張りますので一層のご協力よろしくお願い致します。また来年皆さまと元気に再開できるよう祈念します。」と開会の挨拶をしました。

続いて、安原会長、中村副会長にそれぞれご挨拶

頂き、そのなかで冒頭、西日本集中豪雨災害の被災者の皆様へのお悔みとお見舞いの言葉があり、10月6日に開催される百周年記念式典、寄付活動の状況と御礼、生徒数と進路実績、部活動状況等について近況報告がありました。特に校長先生から高校野球県予選について「今朝、広島支部総会に出発する前に今日戦う選手たちを、見送りし勝利を祈っていましたが、教頭から残念ながら敗退したとの報告を受けました。今年のチーム事情から今年はどうしても勝たせてやりたかったです。」と涙ぐみながら選手達の奮闘についてお話しがありました。

続いて議事に入り広島支部の会計報告並びに百周年記念式典に広島支部から派遣する旨が満場一致で承認され、毎年元気で出席頂いている高5期の狩野さんの乾杯音頭で懇親会に入り久し振りの出会いで賑かに会話が進み、自己紹介などでお互



いの近況を確かめ合いました。河島さん・三島さんのリードで校歌、応援歌、壮行歌が二度三度歌われるなか瞬く間に時間が過ぎ、高17期の黒川陽右さんが「来年はこの会の参加者をぜひ倍にしま

しょう。そして必ずお会いしましょう。」と再会を約束し総会は終了しました。



おりべ5期の会 2018

高校第5期卒業生同窓会・愛称【おりべ5期の会】(代表・蓮岡法障)の2018年会を6月18日～19日、前年に続いて玉造・ホテル玉泉で、会員14名が参加し開催しました。参加者が20名を切ったのは今回が初めてです。健康上の理由による欠席者が相次いだのです。

また、この1年で6名もの学友が冥界へ旅立ちました。この人数もまた新記録です。昭和9年組は今年7回目の年男・年女で満84歳。「終活」を現実のものとして実感する2018年会でもありました。

荻野晶子さん(旧姓藤原・松江市)の乾杯で開宴。今回は田部艶子さん(旧姓川西・奥出雲)が久々に参加され、太田保子さん(旧姓森・松江市)や舟木老弘くん(大東)ともどもカラオケの部を大いに盛り上げてくれました。また、入江早苗さん(旧姓内田・松江市)と佐々木弘子さん(大東)はカラオケに合わせての創作ダンス。会の締めは恒例の校歌と「星影のワルツ」の大合唱。「元気だからこそ会えるものね」と、

お互いに確認し合い、少人数ながらも充実した同窓会となりました。

翌19日は有志で、「堀川遊覧」と「出雲そば会食」と酒落込みました。城山の深緑や兩岸のアジサイに眼を奪われ、八雲庵の離れ座敷で「割子そば」を満喫し、それぞれの帰途につきました。

(事務局 加藤文則 記)



歌に憶うあゝころ

高校第5期 西 基宜

大東高校に入学したのは昭和25年4月。もう戦後ではない、いや、まだ戦後という声の交錯するころでした。

尋常高等小学校が国民学校と改称された昭和16年4月、国民学校1年生として入学。12月8日の開戦をはさんで5年生の20年8月15日まで、日本は必ず勝つという戦時教育の中で遅しく育てられましたが、案に相違して敗戦。22年3月までは校名国民学校のまま1年半、戦後教育を授かりました。22年4月に学制改革により新制の中学校誕生。その1年生として入学しました。そして3年後高校に進学。先輩には旧制中学校からの男子生徒、旧制女学校からの女子生徒がおられ、ばんからと優しさの気風を親しく学びました。

私たちが戦中戦後に学校教育を授かった当時の世相を詠んだ歌人の歌を抜粋して、あゝころを偲ぶよすがとしてみたいと思います。

- 学徒みな兵となりたり歩み入る広き校舎に立つ音あらず (窪田空穂)
- こゑひくき帰還兵士のものがたり焚火を継がむまへにおはりぬ (斎藤茂吉)
- 戦ひに敗れてここに日をへたりはじめて大き欠伸をなしぬ (前田夕暮)
- あなたは勝つものと思つてゐましたかと老いたる妻のさびしげにいふ (土岐善磨)
- 辻に立ち ひとの袖ひくをとめ子を 叱るすべなし。国はやぶれぬ (釈 迢空)
- ふところに林檎を秘めて来寄りたる^{うな}淡垂らし子を差し上げにけり (宮 柊二)
- 日の丸の記憶の中にいまいまし弁当のふたの梅干しの穴 (水野昌雄)
- 若き日の耀^{かがよ}ひて見ゆ身を折りて泣きし記憶もまして耀ふ (稲葉京子)
- 人と人和してゐしころ木のほひ火のほひする^{いひ}飯食みてゐき (伊藤一彦)

私自身、戦後の生活難に喘いだこと、春休みも夏休みも田仕事の手伝いなどに汗したことなどを回想しますが、それが生きる力になったように思い、今では納得しています。

高校在学中には演劇部で、思い出に残る「夕鶴」の端役も務めました。主役の「よひよう」を務めた友は夭逝してしまいました。

鎌倉幕府三代将軍源実朝は不運な最期を遂げましたが、精神的にはいざ知らず、身分上、ものには恵まれていたろうと思われませんが、しかし、これに驕らず、思いやり深い歌を詠んでいます。私たちが育った時代と異なり、ものに恵まれた今の世を生きていく若い人たちにも味わっていただきたい歌を二首だけ挙げて終りとします。いとけないわが児を殺したというニュースに心が痛みました。

- もの言はぬ四方^よのけだものすらだにも哀れなるかなや親の子を思ふ
- 時により過ぐれば民の嘆きなり八大龍王雨やめたまへ

傘寿のお祝い

「傘寿」を祝う同窓会

人生100年時代。まだまだ若い80歳と思いきや、そうでも無さそうだ。5月に大阪で第10期卒業生の同窓会を開催した。68名の同窓生に案内を出し、出席者は19名。2年前の松江では32名集まったので大幅な減少だ。もちろん、大阪と地元の違いはあるが、2つ年を重ねてより老いたことには間違いなさそう。それを証明するかのように、欠席理由を体調不良とした同窓生が3分の1も占めていた。

とは言え、元気な仲間達が東京から3人、地元島根からは貸切りバスを仕立てて10人が来てくれた。会場は、新大阪駅に近い「ニューオーサカホテル」。1日目は時間をたっぷり取っての懇親会、2日目は万博記念公園の散策、と意気込んだ。

懇親会は「春の宴会プラン」を頼み、ズラリと並んだ和洋中折衷の料理をつつことから始まった。自分の好きなものを皿に盛り食欲を満たしつつ、燗酒をお飲みの方、ワインを嗜む人、それぞれ。飲むほどに段々と口も滑らかになり、おしゃべりも弾み、和やかな雰囲気の中で宴は盛り上がった。校歌に応援歌に壮行歌も加わって60年前を慕んだ。

部屋を移しての2次会は、狭い部屋に19人全員が集まり、膝を寄せ合い語り合った。1次会と併せて長丁場の懇親会となった。お陰で出席者減少による寂しさは消え、その分、より濃密な交流が出来たことは嬉しかった。

2日目の万博記念公園は、平和のバラ園、日本庭園、サッカー競技場見学と巡り歩き、最後に「エキスポシティ」に寄り昼食を取って解散した。下の写真は、市立吹田サッカースタジアム（ガンバ大阪のホームグラウンド）でのガッツポーズ。

(S33卒 高橋 潮)



新会員

紹介

田部 遼太 (高70期)

3月に高校を卒業してからあっという間に4月になり今は出雲村田製作所で働いています。出雲村田製作所に入って感じたことは大きい、人が多いということです。すごく子どもみたいな感想ですがそのくらい高校とは比べることができない規模の会社に入ったのだと実感します。

工場といえば流れ作業という概念も覆されました。仕事をし始めの頃は覚えることしかなく毎日が勉強です。今でも分からないことは沢山あります。そこで分からないままにするのではなく先輩方とコミュニケーションを取って教えてもらうこと、受け身にならず自分から聞いていくことがとても重要で不可欠な事と感じました。

高校で学んだ人との関わり方、コミュニケーション力など生きてくる事は沢山あります。大東高校で学んだことは就職でも進学でも必ず生きてくると思います。これからも大東高校で学んだ事をグレードアップさせて活かしていきたいです。



島根大学教育学部特別支援教育専攻 若槻 里歩 (高70期)



私は、今年の春から島根大学に進学し、教育学部で教員になるために必要な知識や経験を積み重ねています。講義や実習等により、高校では学習することのできないことや、より専門性のあることが学べるため、物事を捉える視野が広がりました。

特に、1000時間体験学修は、私の価値観を劇的に広げました。1000時間体験学修とは、地域の学校や社会教育施設、民間団体などが実施する活動支援や行事等への参加をし、社会性や人間性の育成を狙う島根大学教育学部特有のプログラムです。私は、祭りのスタッフや学習支援を地域行事や民間団体などで行いました。

その活動の中で、教員の人や市職員の人のみならず、元自衛隊の人や元オリンピック選手など様々な人と出会い、日常なことから職業のことまであらゆる内容のお話を聞くことができました。

今後は、多角的な視点が持てるようにいろいろな活動をし、実りある大学生活を送りたいと思います。

八雲会

平成29年度事業報告・平成30年度事業計画

平成29年度 事業報告

平成29年	
4月22日(土)	関西支部会 (金築副会長・教頭)
5月 1日(月)	第1回校内幹事会(役割分担)
5月13日(土)	監査会 (H28年度決算)
5月18日(木)	役員会 (決算、予算、事業、総会)
6月20日(火)	大東支部会 (小山剛)
6月26日(月)	第2回校内幹事会(総会)
7月 8日(土)	八雲会総会
7月15日(土)	広島支部会 (永瀬阿用支部長、校長)
8月 3日(木)	阿用支部会 (校長)
9月	会報「八雲」第54号発行
10月21日(土)	関東支部会 (太田副会長・校長)
11月21日(火)	海潮支部会 (若槻)
11月25日(土)	春殖支部会 (恩田)
12月 8日(金)	佐世支部会 (成相)
12月17日(日)	久野支部会
平成30年	
2月16日(金)	幡屋支部会 (会長・若槻)
2月19日(月)	第3回校内幹事会(入会式)
3月 1日(木)	第70期八雲会入会式

平成30年度 事業計画

平成30年	
4月14日(土)	関西支部会 (太田副会長・校長)
4月20日(金)	第1回校内幹事会 (役割分担等)
5月10日(木)	監査会 (H29年度決算)
5月17日(木)	役員会 (決算、予算、事業、総会)
6月13日(水)	第2回校内幹事会 (総会)
6月20日(水)	大東支部会 (小山剛)
7月 7日(土)	八雲会総会
7月21日(土)	広島支部会 (会長・校長)
8月 3日(金)	阿用支部会 (加藤)
10月	会報「八雲」第55号発行
10月27日(土)	関東支部会 (会長・森山)
月 日()	松江支部会
月 日()	春殖支部会
月 日()	幡屋支部会
月 日()	佐世支部会
月 日()	海潮支部会
月 日()	久野支部会
月 日()	塩田支部会
月 日()	加茂支部会
月 日()	穴道支部会
月 日()	木次支部会
平成31年	
月 日()	第3回校内幹事会(入会式)
2月28日(木)	第71期八雲会入会式

平成29年度 大東高校八雲会一般・特別会計決算書

1. 収入の部

(単位：円)

費目	本年度予算額	決算額	比較増減額	備考
入会金	966,000	943,200	▲22,800	年額3,000円
繰越金	884,003	884,003	0	前年度繰越金
寄付金	400,000	439,000	39,000	寄付金
雑収入	97	5	▲92	預金利息
合計	2,250,100	2,266,208	16,108	

2. 支出の部

(単位：円)

費目	本年度予算額	決算額	比較増減額	備考
総務費	600,000	394,098	▲205,902	
会議費	230,000	152,865	▲77,135	役員会、総会費
旅費	250,000	147,230	▲102,770	支部会出席等旅費
通信費	40,000	25,853	▲14,147	郵券
事務費	20,000	21,062	1,062	振込手数料、払込書印字代
管理費	60,000	47,088	▲12,912	会員登録、データ管理等
事業費	1,240,000	1,147,392	▲92,608	
八雲発行費	600,000	634,752	34,752	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	480,000	▲120,000	関東、関西、広島、加茂、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮の各支部
入会式	40,000	32,640	▲7,360	入会記念品
雑費	10,000	8,000	▲2,000	慶弔費
予備費	400,100	0	▲400,100	
合計	2,250,100	1,549,490	▲700,610	

(収入総額) 2,266,208円

(支出総額) 1,549,490円

(差引残額) 716,718円・・・平成30年度へ繰越

特別会計(積立)決算書

平成28年度末残高	539,570円
平成29年度利息	4円
平成29年度末残高	539,574円

平成30年度 大東高校八雲会一般・特別会計予算書

1. 収入の部

(単位：円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
入会金	921,000	966,000	▲45,000	年額3,000円×307名
繰越金	716,718	884,003	▲167,285	前年度繰越金
寄付金	400,000	400,000	0	寄付金
雑収入	82	97	▲15	預金利息
合計	2,037,800	2,250,100	▲212,300	

2. 支出の部

(単位：円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
総務費	600,000	600,000	0	
会議費	230,000	230,000	0	役員会、総会費
旅費	250,000	250,000	0	支部会出席等旅費
通信費	40,000	40,000	0	郵券
事務費	30,000	20,000	10,000	事務用品、振替払込書印字代等
管理費	50,000	60,000	▲10,000	会員登録、データ管理等
事業費	1,290,000	1,240,000	50,000	
八雲発行費	650,000	600,000	50,000	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	600,000	0	関東、関西、広島、松江、宍道、加茂、木次、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田の各支部
入会式	40,000	40,000	0	入会記念品
雑費	10,000	10,000	0	慶弔費等
予備費	137,800	400,100	▲262,300	
合計	2,037,800	2,250,100	▲212,300	

特別会計(積立)予算書

平成29年度末残高	539,574円
平成30年度利息	6円
平成30年度末残高見込額	539,580円

平成30年度～31年度 八雲会役員一覧

役職	氏名	期	役職	氏名	期
顧問	川上 朋良	高3	副会長	錦織 直行	高19
	景山 純孝	高9		中村 訓子	校長
会長	安原 重隆	高11	監事	増田 敏男	高10
副会長	太田多美子	高13		狩野 健吉	高18
	景山 源栄	高15		石川 辰子	高23

【理事】

地区	氏名	期	地区	氏名	期
大東	蘆田 道昭	高16	加茂	新田 国善	高27
	森脇 誠夫	高10		錦織 直行	高19
	光谷由紀子	高18		藤原 慶介	高12
	青木 愛治	高18		岸本 邦夫	高19
	糸川 栄一	高19		永瀬 敬治	高23
	安部 幸治	高24		高橋 雄二	高32
春殖	横山 美昭	高20	木次	佐藤 隆司	高31
	木村 晋吾	高27		細木 弘志	高32
幡屋	森山 武史	高25	松江	渡部 清美	高27
	山崎 英志	高29		細木 勝美	高18
佐世	錦織 涿郎	高14	八幡	八幡 憲次	高19
	錦織 一夫	高17		佐藤 眞	高17
阿用	永瀬 康典	高18	広島	富久 禮識	高6
	陶山 隆之	高17		佐藤 和紀	高12
	矢壁 正弘	高28	関西	広木 益夫	高16
	安部万里子	高28		鏝木 茂雄	高32
久野	堀江 善彦	高23	関東	持田 啓司	高32
	上代 英治	高29			
海潮	新田 昭隆	高15			
	木村 昭憲	高17			
	宮川 稔	高27			

【代議員】

地区	氏名	期	地区	氏名	期
大東	下見 美光	高24	松江	岩橋 弘政	高18
	小山 益男	高20		勝部 修	高19
	狩野 恵子	高24	広島	渡部 剛	高16
	山本 司	高32		三島 暁子	高17
春殖	糸原 優二	高33	関西	小山 勉	高23
	田中 久志	高33	関東	佐藤 博芳	高32
幡屋	郷原 辰雄	高22	<h3 style="text-align: center;">【八雲会支部長】</h3> <p>大東支部 蘆田 道昭 春殖支部 横山 美昭 幡屋支部 森山 武史 佐世支部 錦織 涿郎 阿用支部 永瀬 康典 久野支部 堀江 善彦 海潮支部 新田 昭隆 塩田支部 新田 国善 加茂支部 錦織 直行 木次支部 佐藤 隆司 宍道支部 渡部 清美 松江支部 細木 勝美 広島支部 佐藤 眞 関西支部 広木 益夫 関東支部 鏝木 茂雄</p>		
	舟木 忠夫	高24			
	武田 良伸	高32			
	田中 亙	高37			
佐世	安部 博	高18			
	高橋 敬二	高22			
阿用	木色 薫	高20			
	森山 肇	高24			
	安井 修	高25			
久野	長妻 賢二	高32			
	三澤 郁穂	高35			
海潮	岩田 和義	高19			
	福岡 廣明	高20			
	佐々木 徹	高23			
	山根 和幸	高25			
塩田	安達 隆亜	高42			
加茂	竹村 治美	高17			
	吉岡 敏隆	高27			
木次	上野城保明	高49			
宍道	佐藤 和彦	高32			

大東高等学校事務局

TEL(0854)43-2511 FAX(0854)43-2512

事務局長 江川 数司 (教頭)	幹事長 森山 智 (高32)	幹事 藤井 孝之 (事務局)
幹事 恩田 守 (高32)	幹事 成相 智志 (高33)	幹事 小山 剛 (高35)
幹事 加藤 宏明 (高57)	幹事 若槻 太一 (高63)	幹事 小山美紀子

よろしくお願ひします。

「八雲会」へのご寄付のお礼とお願い

昨年の会報「八雲」で寄付金のお願いをいたしましたところ、日本各地にいらっしゃいます卒業生の皆様より寄付金を頂戴しました。この紙面をお借りしまして、心より御礼申し上げます。今年も引き続き、皆様のご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。

1. 寄付状況

◇総額：425,000円

◇振込人数 118人

◇都道府県別寄付状況（人）

北海道 3 東京 7 千葉 6 埼玉 5 神奈川 2 愛知 4
 新潟 1 京都 5 奈良 2 大阪 13 兵庫 1 岡山 2
 広島 14 山口 1 島根 49 鳥取 3

◇口別寄付状況（人）1口1,000円

1口 33 2口 19 3口 31 5口 17 6口 1 10口 17

2. 寄付者芳名録（期順、敬称略）※平成29.8.1～H30.7.31のご寄付

期	氏名	都道府県	期	氏名	都道府県	期	氏名	都道府県
実女9	内田 絹子	島根	高10	柳井津美代子	京都	高19	郷原 保男	島根
高女2	本池 照子	埼玉	高10	高橋 勝彦	大阪	高19	蘆田 信夫	島根
高女5	山根恵美子	山口	高10	山根 博子	愛知	高19	白川 和枝	広島
高女5	舟木 性子	島根	高11	杉原ヤシ子	島根	高20	片寄 芳江	島根
高女5	森山 匡子	島根	高11	篠原 英好	島根	高21	奥津 正江	岡山
高女5	久保田芳枝	島根	高11	錦織 武久	大阪	高21	鍛冶 咲子	大阪
高女5	池田 國枝	鳥取	高11	安原 重隆	島根	高22	斉藤 鈴子	愛知
高女6	足立 弥生	島根	高12	佐藤 和紀	広島	高22	中村 淳	大阪
高女7	岩成 蓉子	千葉	高12	野津 克彦	島根	高22	吉岡 祥治	島根
高女7	宮廻 文子	島根	高12	土谷 武盛	島根	高22	武田 文夫	東京
高女7	増田 欣子	千葉	高13	三島 修	京都	高22	原 幸生	大阪
高女7	榊原 寛子	島根	高13	太田多美子	島根	高22	高橋 敬二	島根
高女併中1	飯石賀代子	島根	高14	鋸木 捷彦	新潟	高23	景山みどり	鳥取
高女併中1	石田 守子	島根	高14	冨久 修	広島	高23	簾 洋一	広島
高3	狩野 精夫	神奈川	高14	小林 孝芳	島根	高23	門脇 英雄	北海道
高3	藤間 照子	神奈川	高14	川西 雄二	大阪	高23	土谷 清治	島根
高3	大村 誠	島根	高14	安原知加子	島根	高23	小山 勉	大阪
高3	田中 潤子	島根	高15	高島 節郎	東京	高24	前田 美子	京都
高3	経種 信明	北海道	高15	山中 茂樹	埼玉	高25	吉木 稔朗	東京
高3	江草まゆみ	京都	高15	高木 嘉子	千葉	高26	長尾 広志	島根
高4	水本 静恵	大阪	高15	景山 源栄	島根	高26	松浦 英雄	愛知
高5	藤原 義正	兵庫	高16	松浦 孝保	鳥取	高28	吉村真理子	島根
高5	狩野 彰彦	広島	高16	長谷川 亨	島根	高28	幸泉 優美	埼玉
高5	山本あさか	広島	高16	広木 益夫	大阪	高28	渡部 実	大阪
高5	入江 早苗	島根	高17	山崎 善吉	愛知	高29	佐藤 孝子	島根
高7	田中 和子	奈良	高17	本庄 慶子	東京	高29	長尾みゆき	島根
高7	野々村 学	東京	高17	飯浜 利	広島	高29	渡部 恒雄	島根
高7	村田 満枝	千葉	高17	黒川 暘右	広島	高31	川本 浩二	北海道
高8	土井 進	大阪	高17	藤井 廣満	島根	高32	森山 智	島根
高8	鳥谷 登	島根	高17	荒木千代美	大阪	高32	佐藤 博芳	東京
高8	瀧 清	島根	高18	藤原 勲	島根	高33	金森 正	大阪
高8	長瀬 智子	島根	高18	福本 亨	埼玉	高33	武田 智美	広島
高9	景山 純孝	島根	高18	原 嘉道	島根	高35	勝部 清	島根
高9	佐藤 忠吉	島根	高18	土井 恵子	広島	高35	石川千登勢	東京
高10	高橋 潮	奈良	高19	細井 幹子	千葉	高36	中島 俊光	京都
高10	岡田 邦雄	広島	高19	八幡 悦子	島根	高38	吉川 正人	島根
高10	音無 保	埼玉	高19	八幡 憲次	島根	高44	安原みずほ	島根
高10	森 龍治	広島	高19	鶴原 武夫	岡山		深田 枝折	島根
高10	佐々木陸子	千葉	高19	今岡 光範	広島		余村ひろみ	島根

・本人死去によるご家族の寄付および匿名希望の寄付あり

振込方法

専用振込用紙を年に一度お送りしている会報誌『八雲』と一緒にお届けします。一口1,000円から受付させていただきます。

◆寄付金額：一口 1,000円

◆振込先：ゆうちょ銀行（振込手数料はかかりません）

口座記号番号 01390-5-103127 口座名称 八雲会

※他行等からの上記口座へのお振込の場合は下記内容をご指定ください。振込手数料は差し引いてご入金ください。

店名(店番) 一三九(イチサンキュウ)店(139) 預金種目：当座 口座番号：0103127

◆その他・卒業生のお名前で（ご家族の方等が振り込まれる場合も）お振り込みください。

・通信欄に卒業期、または卒業年度をお書きください。

・振込期限はありません。（随時受付をしています）

記念式典関係中止後の対応について

この度は大東高等学校創立百周年記念事業に格別のご支援を賜りありがとうございました。10月6日に予定しておりました創立百周年記念式典は、残念ながら台風接近のため中止といたしました。今後、下記のとおり対応することとしました。事業のご報告に併せお知らせいたします。何とぞご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

1. 記念式典は改めて行いませんが、式典に代わるものとして次のとおり行います

(1) 百周年記念講演会 次のとおり、来年度に改めて実施します。

日時：平成31年5月20日(月)(午後)

場所：雲南市加茂文化ホール ラメール

講師：池上 彰 氏

※詳細が決まりましたら大東高校ホームページ等によりお知らせいたします。

(2) 百周年記念校内式典

平成30年12月21日(金)に学校の終業式に併せて『100周年記念校内式典』を行います。この式典は在校生向けの式典とし、学校主催で実行委員会委員(委員長・副委員長・常任委員)の立ち会いのもとで行います。

2. 記念整備事業について

記念事業自体は年度内に完了予定です。百周年記念事業でいただいたご寄付については、次のとおり使わせていただいております。

- ・前庭整備 ・記念碑 ・マイクロバス ・玄関幕 ・屋外時計 ・体育館緞帳
- ・体育館暗幕 ・体育館フロアシート ・空手道場マット ・部活動ユニフォーム
- ・楽器更新および修理 ・大講義室音響およびWiFi ・式典等に係る諸経費(広報、印刷、郵券、諸物品) ・大東高校生用下宿(シェアハウス)改修(※講演会に係る経費は来年度)

3. 百周年記念誌について

年度内完成をめざして現在編集の最終段階に入っています。

4. その他

ご寄付をいただいた方々の芳名録は『創立百周年記念の栞』に掲載しました。振込によりご寄付を頂いた方へはすでに送付いたしました。また集金によりご寄付を頂いた方へは各支部ごとに直接お渡しいただく予定です。

お詫び

百周年実行委員会事務局の不幸際にて「創立百周年記念の栞」にあります「寄付者芳名録」に下記の記載漏れがありました。ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

■振込によるもの(島根県) 企業：大東町料飲組合 日交整備株式会社 一般：高19期(3年1組)

東北楽天ゴールデンイーグルス 福山博之投手の 講演会を行いました！



2017年12月21日、大東高校出身のプロ野球選手福山博之さんがオフシーズンに帰郷し、大東公園体育館にて講演会を行いました。

「理不尽に勝て！」を演題に、力強いメッセージを生徒へ伝えてくださいました。

講演のようす

生徒の声

シンプルで熱のこもったメッセージが印象的でした。同じメッセージでも、地元の先輩からの言葉は胸に響きます。ひとつのことに打ち込んでいると苦しいこともあります。それが成長につながると思って頑張りたいです。



東北楽天ゴールデンイーグルス 投手
大東高等学校 第59期 卒業生



編集 後記

会報「八雲」の発行に際しましては、ご多用の中、今年も多くの皆様のご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

今号は、100周年記念号的な位置づけから、一部構成内容を変えております。ご了承ください。これから寒くなる時期を迎えます。皆様、健康に留意されお過ごしください。

大東高校内八雲会本部事務局

島根県立大東高等学校
〒699-1251 島根県雲南市大東町大東637
TEL(0854)43-2511・FAX(0854)43-2512
E-mail:daito-hs@edu.pref.shimane.jp
ホームページ <http://www.daito-h.ed.jp/>
☆☆大東高校公式 **facebook** もご覧ください☆☆